

岩田靖夫先生 業績目録

2015年3月



2004年頃の岩田靖夫先生

略歴

昭和 7 年 4 月 25 日 東京都千代田区に生まれる

学歴

昭和 26 年 3 月 東京都立日比谷高等学校卒業
昭和 26 年 4 月 東京大学文学部哲学科入学
昭和 31 年 3 月 東京大学文学部哲学科卒業
昭和 31 年 4 月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程入学
昭和 33 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了
昭和 33 年 4 月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程入学
昭和 36 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程単位修得退学
昭和 62 年 9 月 7 日 文学博士（東京大学）

職歴・研究歴

昭和 36 年 4 月 1 日 日本学術振興会奨励研究生
昭和 36 年 7 月 16 日 東京大学教養学部助手
昭和 39 年 4 月 1 日 成城大学文芸学部講師
昭和 42 年 4 月 1 日 北海道大学文学部助教授
昭和 45 年 4 月 13 日 北海道大学法学部講師を併任（昭和 46 年 9 月 30 日まで）
昭和 48 年 10 月 1 日 東北大学文学部助教授
昭和 52 年 11 月 16 日 東北大学文学部教授 西洋哲学史第一講座担任
昭和 54 年 8 月 日本学術振興会派遣研究員としてベルギーのルーヴァン大学
およびドイツのケルン大学にて研究（昭和 56 年 1 月まで）
昭和 61 年 8 月 フルブライト委員会上位研究員としてアメリカ合衆国の
ハーバード大学にて研究（昭和 62 年 4 月まで）
平成 5 年 4 月 1 日 東北大学評議員を併任（平成 7 年 3 月 31 日まで）
平成 8 年 3 月 31 日 東北大学を定年退職
平成 8 年 4 月 1 日 聖心女子大学教授（文学部哲学科）、東北大学名誉教授

平成 13 年 4 月 1 日 仙台白百合女子大学教授
平成 14 年 4 月 1 日 仙台白百合女子大学カトリック研究所長
(平成 26 年 3 月 31 日まで)
平成 18 年 3 月 31 日 仙台白百合女子大学教授 定年退職
平成 18 年 4 月 2 日 仙台白百合大学名誉教授

学会等役員歴等

昭和 48 年 11 月 中世哲学会常任委員 (平成 20 年 3 月)
昭和 61 年 6 月 日本西洋古典学会常任委員 (平成 15 年 5 月)
平成元年 6 月 日本哲学会委員 (平成 21 年 5 月)
平成 4 年 10 月 24 日 東北哲学会会長 (平成 10 年 10 月 10 日)

受賞歴

平成 15 年 11 月 3 日 文化功労者顕彰
平成 18 年 11 月 3 日 瑞宝重光章受章授与

平成 27 年 1 月 28 日 肺炎のため東北大学病院で死去 満 82 歳

業績

単著

1. 『アリストテレスの倫理思想』岩波書店、1985年10月
2. 『神の痕跡——ハイデガーとレヴィナス』岩波書店、1990年1月
3. 『倫理の復権——ロールズ・ソクラテス・レヴィナス』岩波書店、1994年4月
4. 『ソクラテス』勁草書房、1995年7月
5. 『神なき時代の神』岩波書店、2001年2月
6. 『ヨーロッパ思想入門』岩波書店、2003年7月、岩波ジュニア新書
7. 『よく生きる』筑摩書房、2005年11月、ちくま新書
8. 『三人の求道者：ソクラテス・一遍・レヴィナス』創文社、2006年10月
9. 『いま哲学とはなにか』岩波書店、2008年6月、岩波新書
10. 『アリストテレスの政治思想』岩波書店、2010年8月
11. 『ギリシア哲学入門』筑摩書房、2011年4月、ちくま新書
12. 『ギリシア思想入門 = Introduction to Greek Thought』東京大学出版会、2012年7月
13. 『人生と信仰についての覚え書き』女子パウロ会、2013年9月
14. 『増補 ソクラテス』筑摩書房、2014年2月、ちくま学芸文庫
15. 『極限の事態と人間の生の意味』筑摩書房、2015年5月刊行予定（遺作）、ちくま新書

共著

1. 『西洋思想の流れ』東京大学出版会、1964年5月〔原佑、伊藤勝彦、渡辺二郎氏と共著（1ギリシア思想、2キリスト教（分担））〕
2. 『西洋思想のあゆみ』有斐閣、1993年10月〔坂口ふみ、柏原啓一、野家啓一氏と共著（1ギリシア人の思想（分担））〕
3. 『西洋思想の源流』放送大学教育振興会、1997年4月〔坂口ふみ氏と共著（第一章～第十章 {ギリシア人の思想}、第十五章 {ロールズとレヴィナス}（分担））〕

共編著

1. 『人間 その生と死』平楽寺書店、1993年12月〔塚本啓祥氏と共編著〕

和文論文

1. 「アリストテレスに於ける人間と倫理」『哲学雑誌』第 74 卷、第 742 号、有斐閣、1959 年 9 月
2. 「自由と運命——『オイティプス テュラノス』をめぐるソフォクレスの人間像」『理想』第 339 号、第 340 号、理想社、1961 年 8 月
3. 「存在 真理 価値（1）」『東京大学教養学部人文科学科紀要』第 29 集、哲学 10、東京大学教養学部、1963 年 3 月
4. 「存在 真理 価値（2）」『東京大学教養学部人文科学科紀要』第 21 集、哲学 11、東京大学教養学部、1964 年 3 月
5. 「ポリテイアーにおけるドクサとエピステーマー（1）」『哲学雑誌』第 80 卷、752 号（ギリシア思想の研究）、有斐閣、1965 年 10 月
6. 「魂」岩崎武雄編『哲学』所収、有信堂、1965 年 12 月
7. 「ディアレクティケー管見」『成城文芸』第 46 号、成城大学文芸学部研究室、1967 年 5 月
8. 「主体性の意味」『理想』第 416 号、理想社、1968 年 1 月
9. 「アリストテレスの文学論」『理想』第 429 号、理想社、1969 年 2 月
10. 「愛について——アリストテレスのフィリアー考を中心とする人間観試論」『北海道大学文学部紀要』18 の 1、通巻 24 号、北海道大学文学部、1970 年 7 月
11. 「存在への接近——ハイデガーの根拠をめぐる」講座『哲学』第 1 卷所収、東京大学出版会、1973 年 2 月
12. 「バルメニデスの存在とアトム」講座『哲学』第 2 卷所収、東京大学出版会、1973 年 3 月
13. 「真理」現代哲学選書第 1 卷『哲学への道』所収、学文社、1973 年 4 月
14. 「アリストテレスにおける自然（上）」『哲学雑誌』第 89 卷、第 761 号、有斐閣、1974 年 11 月
15. 「ポリス的存在としての人間」現代哲学選書第 9 卷『社会の哲学』所収、学文社、1975 年 9 月
16. 「アリストテレスにおける自然（中）」『哲学雑誌』第 90 卷、第 762 号、有斐閣、1975 年 11 月
17. 「アリストテレスの目的論」『東北大学文学部研究年報』、第 26 号、東北大学文学部、1977 年 3 月
18. 「世界観の探究」『東北大学開放講座テキスト』東北大学教育学部大学教育開放

センター、1977年11月

19. 「秩序と偶然——アリストテレスの目的論の一局面——」『哲学雑誌』第92巻、第764号、有斐閣、1978年10月
20. 「存在」井上忠編『哲学』所収、弘文堂、1979年2月
21. 「アリストテレスの場所論」『西洋古典学研究』XXVII、岩波書店、1979年3月
22. 「アリストテレスのプロネーシスとギリシアの伝統」『現代思想』3月号、青土社、1982年3月
23. 「アリストテレス倫理学の原理」『思索』第15号、東北大学哲学研究会、1982年10月
24. 「アテナイ期の哲学」『テキストブック西洋哲学史』有斐閣、1984年8月
25. 「合理性とはなにか——いわゆるテキスト主義に關説して」『哲学雑誌』第771号、有斐閣、1984年11月
26. 「ケノン・コーラー・トポス」『新岩波講座 哲学』第7巻、岩波書店、1985年6月
27. 「他者の痕跡」『理想』第626号、理想社、1985年7月
28. 「ソクラテスのダイモニオン」『メランコリー概念の研究』（科学研究費報告）1986年4月
29. 「正義論の基底——ロールズとアリストテレス」『思想』第746号、岩波書店、1986年8月
30. 「『トピカ』における述語の分類について」『対話の論理と論証の論理』（科学研究費報告）1988年3月
31. 「アリストテレスの国家観——自然的・倫理的共同体としての国家」『西洋思想における正義論の系譜とその現代的展開』（科学研究費報告）1988年3月
32. 「人倫的世界における目的論」『哲学』第37号（日本哲学会1988年度シンポジウム〔目的論の再検討〕提題論文）法政大学出版局、1988年4月
33. 「公共的合意による倫理——ロールズ哲学の基本的構造」『思想』第777号、岩波書店、1989年3月
34. 「超越と倫理」『講座 人間』第8巻、岩波書店、1989年12月
35. 「生と死の逆説——ソクラテスにおける生と生の彼方」『人間、その生と死』（東北大学開放講座テキスト）東北大学教育学部大学教育開放センター、1992年9月
36. 「アリストテレスの無限論——宇宙の有限性との連関において」『天体表現の芸術史的考察』（科学研究費報告）1993年3月
37. 「ハイデガーの〔最後の神〕に関する覚書」『異文化間の接触と交流』（文学部平

成4年度教育研究学内特別経費研究報告書) 1993年3月

38. 「ソクラテスの問い——原点への還帰」『哲学』第42号(日本哲学会1993年度シンポジウム〔現代の歴史的状況における哲学の役割〕提題論文)法政大学出版局、1993年4月
39. 「否定の精神と超越への予感——キルケゴールのソクラテス理解に關説して」『なぜキリスト教か——中川秀恭85歳記念論文集』創文社、1993年9月
40. 「技術と芸術の等根源性とそれぞれの意味」『技術と芸術——その等根源性と両極性をめぐる歴史的哲学的考察一』(科学研究費報告)1994年3月
41. 「ソクラテスの正義——『クリトン篇』の根底にあるもの」『自然法と実践知』(阿南成一、他編)創文社、1994年8月
42. 「自然の合目的性と自然破壊」『終わりからのメッセージ——世紀末を迎えて——』(東北大学開放講座テキスト)東北大学教育学部大学教育開放センター、1994年9月
43. 「内在と超越——ハイデガーの《無》とソクラテスの《ダイモニオン》」『中世思想研究』第36号、創文社、1994年10月
44. 「ソクラテスの神」『カトリック研究所論集』第一号、仙台白百合女子短期大学、1995年3月
45. 「レヴィナスにおける死と時間——ハイデガーとの対比において」『思想』第861号、岩波書店、1996年3月
46. 「プラトンの『国家』における正義」『思想』第868号、岩波書店、1996年10月
47. 「21世紀において人はいかに生きるべきか」『現代のエスプリ』第352号、至文堂、1996年11月
48. 「神の超越と人間の責任——人間を通してのみ働く神」『思想』第874号、岩波書店、1997年4月
49. 「死にさらされた裸と至高性——レヴィナスの語る顔——」『地球化時代のキリスト教』所収、春秋社、1998年1月
50. 「アリストテレスにおける自然の目的論的構造」『ヨーロッパ中世の自然観』所収、創文社、1998年6月
51. 「アリストテレスの奴隷論——その正当化の論理と超克の可能性——」『思想』第893号、岩波書店、1998年11月
52. 「アリストテレスの『政治学』における市民と国制の概念」『論叢』第92号(聖心女子大学創立50周年記念論文集)聖心女子大学、1999年2月
53. 「ギリシア人の神」『宗教と文化』、第19号、聖心女子大学キリスト教文化研究所、1999年3月

54. 「否定と跳躍——ソクラテスとキルケゴール」『21世紀へのギリシア哲学』（実存思想論集 15）理想社、2000年8月
55. 「現代の政治哲学における基本的論点と問題点」『中世思想研究』第42号（第41回中世哲学会シンポジウム提題論文、1999年11月）創文社、2000年9月
56. 「アリストテレスの『政治学』における中間の国制」『思想』第920号、岩波書店、2001年1月
57. 「人間の高さ：レヴィナスの哲学から」『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報 9』清泉女子大学、2001年3月
58. 「経済と倫理——アリストテレスの経済思想」『思想』第962号、岩波書店、2004年6月
59. 「デモクラシーと幸福——自己実現と自己奉獻 幸福の二つの次元——」『公共哲学の古典と将来』東京大学出版会、2005年1月
60. 「理性と法——アリストテレスの政治思想における教育の意味——」『思想』第981号、岩波書店、2006年1月
61. 「他者とことば——根源への回帰」『哲学雑誌』第793号、有斐閣、2006年9月
62. 「レヴィナス哲学における『苦しみ』の意味——レヴィナスの『神』再論」『思想』第989号、岩波書店、2006年9月
63. 「大災害についての哲学的考察——東日本大震災に遭遇して」『思索』第44号、東北大学哲学研究会、2011年10月

翻訳

単独訳

1. トマス・アキナス「存在と本質」「対異教徒大全」抄訳、アウグスチヌス「神の国」抄訳、岩崎武雄・斉藤忍随編『原典による哲学の歩み』所収、講談社、1974年11月
2. W. K. C. ガスリー『ギリシア人の人間観』白水社、1978年12月
3. J. デリダ「哲学を教えること——教師、芸術家、国家——カントとシェリングから」『思想』第718号、岩波書店、1984年4月
4. プラトン『バイドン——魂の不死について——』岩波書店、1998年2月、岩波文庫
5. ハイデッガー『形而上学入門』〔ハイデッガー全集第40巻〕創文社、2000年7月

共訳

1. アリストテレス『アレクサンドロスに贈る弁論術』〔アリストテレス全集第16巻〕岩波書店、1968年12月〔斉藤忍随氏と共訳〕
2. E. R. ドッズ『ギリシア人と非理性』みすず書房、1972年12月〔水野一氏と共訳〕
3. M. ハイデッガー『アリストテレスの《形而上学》第9巻講義』〔ハイデッガー全集第33巻〕創文社、1994年10月〔天野正幸、篠澤和久氏と共訳〕

書評・紹介

1. “R. S. Bluck, *Plato's Phaedo*, 1955, Kegan Paul”、『哲学雑誌』72巻、第736号 有斐閣、1957年11月
2. “H. D. F. Kitto, *The Greeks*, 1956, Penguin Books”、『哲学雑誌』73巻、第738号、有斐閣、1958年6月
3. “W. K. C. Guthrie, *In the Beginning*, 1957, Methuen”、『哲学雑誌』74巻、第742号、有斐閣、1959年9月。
4. “F. Dirlmeier, *Aristoteles Nikomachische Ethik*, 1956, Akademie Verlag Berlin”、『西洋古典学研究』VIII、岩波書店、1960年3月
5. 「ある古典学者の人生観」『みすず』第80号、みすず書房、1966年1月
6. “R. Bambrough, *New Essays on Plato and Aristotle*, 1956, Routledge Kegan Paul”、『西洋古典学研究』XV、岩波書店、1967年3月
7. “H. Wagner, *Aristoteles Physikvorlesung*, Werk, Bd.11, 1967, Akademie Verlag Berlin”、『西洋古典学研究』XXIII、岩波書店、1975年3月
8. “G. Bien, *Die Grundlegung der politischen Philosophie bei Aristoteles*, 1973, Verlag Karl Alber”、『西洋古典学研究』XXX、岩波書店、1982年3月
9. “J. Dudley, *Gott und Theoria bei Aristoteles — Die metaphysische Grundlage der nikomachischen Ethik*, 1982, Peter Lan”、『西洋古典学研究』XXXII、岩波書店、1984年3月
10. 「真方敬道の二著にみる思索 『中世個体論研究』『異教文化とキリスト教の間』1988年10月、南窓社」『図書新聞』第634号、図書新聞社、1989年3月。
11. “J. Aubonnet, *Aristote Politique*, 4. vols, Société d'édition (les belles lettres), 1968–1989”、『西洋古典学研究』XXXVIII、岩波書店、1990年3月
12. “T. S. Sinclair, *The Politics of Aristotle*, 1985, Penguin Classics”、『西洋古

- 典学研究』XXXVIII、岩波書店、1990年3月
13. “C. Lord, *Aristotle The Politics*, 1985, The University of Chicago Press”、『西洋古典学研究』XXXVIII、岩波書店、1990年3月
 14. 「牛田徳子著、『アリストテレス哲学の研究——その基礎概念をめぐる』『創文』332号、創文社、1992年5月。
 15. 「稲垣良典著『天使論序説』1996年6月、講談社学術文庫『カトリック新聞』第3401号、カトリック新聞社、1996年10月。
 16. 「『21世紀公共哲学の地平』佐々木毅、金泰昌編、2002年7月、東京大学出版会『公共的良識人』145号、公共哲学共働研究所、2003年12月。
 17. 「田川建三著『キリスト教思想への招待』2004年3月、勁草書房』2004年4月（『河北新報』（4月11日）、『東奥日報』（4月16日）、『下野新聞』（4月17日）、『四国新聞』（4月17日）、『山陽新聞』（4月11日）、『北日本新聞』（4月11日）、『京都新聞』（4月18日））
 18. 「『ローズ哲学史講義』上下（坂部恵監訳、久保田顕二、下野正俊、山根雄一郎訳）、2005年6月、みすず書房『みすず』534号、みすず書房、2005年11月〔（岩田靖夫「ローズ哲学と哲学史講義」20-23頁）〕
 19. 「ユダヤ・キリスト教の神とはなにか——『受難の意味——アブラハム・イエス・パウロ』を読む』『UP』第36巻1号、東京大学出版会、2007年1月
 20. 「宮本氏の思索との哲学的立場からの三つの対話——書評 宮本久雄『他者の甦り——アウシュヴィッツからのエクソダス』』『創文』第510号、創文社、2008年7月

辞典・座談会

1. 『世界文学小辞典』新潮社、1966年〔ギリシア・ローマ文学関係五十数項目執筆〕
2. 『百科事典』学習研究社、1965年より刊行〔古代哲学関係二十数項目執筆〕
3. 『百科辞典』TBSブリタニカ、1973年〔ストア派（36枚）、プロチノス（20枚）〕
4. 『西洋哲学史の基礎知識』有斐閣、1977年6月、共編：生松敬三、木田元、伊東俊太郎、岩田靖夫〔古代の部分の編集担当。執筆：ソフォクレス、アリストテレス、『形而上学』、『ニコマコス倫理学』〕
5. 「座談会 ドストエフスキー」『理想 ドストエフスキー特集』552号（鼎談 内村剛介、新谷敬三郎、岩田靖夫）、理想社、1979年5月
6. 『百科事典』小学館、1984年〔執筆：エピクロス、エピクロス派、徳〕
7. 『はやわかり世界の名著百選』1984年8月〔執筆：アリストテレス『形而上学』〕

8. 『カトリック大辞典』カトリック大辞典編纂委員会、1985年8月〔執筆：運命、運動、現実態〕
9. 『命題コレクション 哲学』筑摩書房、1990年11月〔執筆：万物のうちにある神への憧れ（アリストテレス）〕
10. 『岩波哲学思想事典』岩波書店、1998年6月〔執筆：存在、真理、博愛、その他数十項目〕
11. 『広辞苑』（第5版）岩波書店、1998年11月〔執筆：数十項目〕
12. 『政治学事典』弘文堂、2000年10月〔執筆：ポリス、古代ギリシアにおける国制の諸形態〕
13. 『比較思想事典』東京書籍、2000年10月〔執筆：真理〕
14. 「講演を受けての討論会」『カトリック研究所講話集』第1号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2010年3月

放送

1. 「愛知を説く人——ソクラテス」NHK放送、1974年9月17、18日

随想・雑文

1. 「F. M. Cornford, *From Religion to Philosophy* の紹介」『東京大学新聞』東京大学新聞社、1959年6月頃
2. 「山本信氏への反論」『東京大学新聞』東京大学新聞社、1964年9月
3. 「青春乱読記」『東北大学新聞』第640号、東北大学新聞社、1974年7月
4. 「イスラエルでの一日（1）」『元寺小路教会報』第45号、カトリック元寺小路教会、1981年8月
5. 「世界の大学 ルーヴァン」『社会科学の方法』146号、御茶の水書房、1981年8月
6. 『岩崎武雄著作集』第五巻解説 新地書房、1982年2月
7. 「イスラエルでの一日（2）」『東北大学新聞』854号、東北大学新聞社、1984年3月
8. 「雑想」『塩釜カトリック教会献堂三十年のあゆみ』塩釜カトリック教会、1983年10月
9. 「普遍概念の位置」『中世思想研究』第27号、創文社、1985年10月
10. 「ミューケーナイ城の想い出」『ギリシア悲劇全集』第8巻（折り込み）、岩波書店、

1990年8月

11. 「杵掛良彦著『サッフォー、詩と生涯』の紹介と論評」東北大学文学部（博士論文審査報告書）、1990年10月
12. 「レオナード・コッレル著、暮田愛訳『エーゲ文明への道』書評」『週刊ポスト』1180号、小学館、1993年2月
13. 「平和の基礎——哲学からみた平和」『カトリック新聞』3678号、カトリック新聞社、1993年8月
14. 「みんなで創る」『あゆみ』（北26条教会報）第300号記念特集号、北26条教会、1993年11月
15. 「ケルベロスと小人の理性」『思想』第830号（思想の言葉）、岩波書店、1995年1月
16. 「哲学がわかる」『アエラムック』第5号、朝日新聞社、1995年1月
17. 「対話とソクラテス」『聖教新聞』1995年7月1日号、聖教新聞社、1995年7月
18. 「研究室に蟠居して23年」『東北大学学报』第1408号、東北大学、1996年1月
19. 「私の三冊」『図書——岩波文庫創刊70周年記念』、岩波書店、1996年12月
20. 「祈りについて」『コミュニケーション聖心』第22号、カトリック女子教育研究所、1997年2月
21. 「読書について」『聖心女子大学イヤー・ブック1997年度』聖心女子大学、1997年3月
22. 「M. Heidegger, *Sein und Zeit*」『書齋の窓』第466号、有斐閣、1997年8月
23. 「不滅の靈魂とイデア」西洋古典叢書『プルタルコス モラリア』（戸塚七郎訳）、折り込み解説、京都大学学術出版会、1997年11月。
24. 「私の薦めるこの一冊」『図書——岩波新書創刊60周年記念』岩波書店、1997年12月
25. 「市民の概念と人間の平等」『思想』第901号（思想の言葉）、岩波書店、1999年7月
26. 「現代政治にもの申す——哲学者はこう考える」『人間会議』第2巻（夏）、宣伝会議、2001年7月
27. 「クリスマスの由来」『リス・ブラン』（仙台白百合女子大学学报）第41号、仙台白百合女子大学、2002年12月
28. 「孤独の突破」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第7号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2003年3月
29. 「幸福とはなにか」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第7号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2003年3月

30. 「一切を捨てる」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第7号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2003年3月
31. 「貧しき者は幸いである」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第7号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2003年3月
32. 「出会いとことば」『公共的良識人』142号、公共哲学共働研究所、2003年9月
33. 「重い宿題」『リス・ブラン』（仙台白百合女子大学学報）第43号、仙台白百合女子大学、2003年12月
34. 「文化功労者に選ばれて」『国際教養学科ニューズレター』第2号、仙台白百合女子大学、2004年3月
35. 「生きる」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第8号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2004年3月
36. 「他者を求める神」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第8号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2004年3月
37. 「神の高さと低さ」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第8号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2004年3月
38. 「希望」『聖心キャンパス』第158号（聖心女子大学卒業記念講演要旨）、聖心女子大学、2004年5月
39. 「希望」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
40. 「人はいかに生きるべきか——驚く、頑張る、交わる——」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
41. 「霊性と祈り」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
42. 「イエスとサマリアの女」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
43. 「ぶどう園の労働者の話」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
44. 「罪の女の赦しと愛」『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』第9号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2005年3月
45. 「ベルギーの思い出」『ちくま』第471号、筑摩書房、2005年12月
46. 「やさしさの夜のとりとめのない思い出」『リス・ブラン』（仙台白百合女子大学学報）第47号、仙台白百合女子大学、2005年12月
47. 「仏性」『カトリック研究所講話集』第1号、仙台白百合女子大学カトリック研

究所、2010年3月

48. 「アリストテレス政治思想の現代的意義——プラトン『国家』の思想との対比において」『学術の動向』2011年1月号、公益財団法人・日本学術協力財団、2011年1月
49. 「キリスト教と仏教に通底する真存在についての試論」『カトリック研究所講話集』第2号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2011年1月
50. 「われわれは神の親族（ゲノス）である」『カトリック研究所講話集』第2号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2011年1月
51. 「神と宇宙と自己」『カトリック研究所講話集』第2号、仙台白百合女子大学カトリック研究所、2011年1月
52. 「『人間愛』の社会へ」『世界』第817号、岩波書店、2011年5月
53. 「大災害についての哲学的小考」『学会会報』第890号、学士会、2011年9月
54. 「人間の絆と『無限』の栄光」『創文』第11号、創文社、2013年11月
55. 「自己への回帰：レヴィナス哲学の底」『福音と世界』第69号、新教出版社、2014年6月

(東北大学文学研究科哲学倫理学合同研究室作成)